

アンケート調査及び関係者ヒアリングの実施

幼児教育の充実に向けて、家庭や幼稚園・保育園における教育や育ちに関する現状、保幼小の接続の観点から区立小学校1年生の学校生活の状況等を把握するため、アンケート調査を実施する。

また、アンケート結果を踏まえ、幼児期の教育や育ちに関する、幼稚園教諭、保育士等へのヒアリングを実施する。

(1) 家庭や幼稚園・保育園の幼児期の教育や育ちに関する状況等を把握するための調査

タイトル	人数・対象
(1)-1 未就学児のいる家庭の現状調査	6,000名 0～5歳児をもつ保護者 (各年齢1,000名ずつ)
(1)-2-A 保育の現状調査(保育者)	約1,000名 区内公・私立保育施設に勤務する保育士 (1施設につき5名ずつ)
(1)-2-B 保育園運営の現状調査(施設長)	約200名 区内公・私立保育施設の施設長 (全保育施設を想定)
(1)-3-A 幼児教育の現状調査(教諭)	約350名 区内公・私立幼稚園の教諭 (1園につき5名ずつ)
(1)-3-B 幼稚園運営の現状調査(園長)	約70名 区内公・私立幼稚園の園長 (区内の全園長を想定)

(2) 幼稚園・保育園から小学校への接続の状況等を把握するための調査

タイトル	人数・対象
(2)-1-1 小学1年生のいる家庭の一学期の現状調査(保護者)	約12,000名 区立小学1・2年生の保護者 (全児童を想定)
(2)-1-2 小学1年生のいる家庭の二学期の現状調査(保護者)	
(2)-1-3 小学2年生のいる家庭がふり返る1年生の実態調査	
(2)-2-A-1 小学1年生の一学期の現状調査(教師)	約200名 区立小学校1年生担任 (全担任を想定)
(2)-2-A-2 小学1年生の二学期の現状調査(現・小1担任向け)	
(2)-3-A 小1学級の通年を通じた状況調査(教師)	約200名 昨年度の区立小学校1年生担任 (全担任を想定)
(2)-4-B 小学校運営の現状調査(校長)	63名 区立小学校の校長